

岡山県自然環境保全審議会 全体会議 議事概要

1 日 時： 令和6年11月7日（木）9：30～11：10

2 場 所： ピュアリティまきび 3階「橘」

3 議 題
（諮問事項）： 岡山県自然保護基本計画の見直しについて

4 出 席 者：

○委員（五十音順、敬称略）

足立 周子、沖 陽子、小見山 節夫、澤志 泰正、鈴木 茂之、角屋 忍、
高橋 正徳、千葉 喬三、中村 伸一、西垣 誠、波田 善夫、福田 佳代、
福田 伸子、本江 誠、丸山 健司、三木 悠希裕、森田 公枝

（計17名、欠席7名）

○事務局（県）

環境文化部長、自然環境課長、事務局職員

◇ 会 議 資 料： 別添のとおり

◇ 議 事 概 要：

－事務局説明－（自然環境課長（以下、課長と表記）が資料に基づき説明）

－意見－

（委員）

- ・シカの被害が深刻だ。湿原の希少植物も食害を受けている。森林の再生が困難な状況が生まれており、植林の伐採跡地で表土崩壊が起きている。そこにシカが溪谷の植物を食べることで土砂が動きやすくなり、土砂崩れの原因となっている。
- ・鳥獣保護区や禁猟区にシカが逃げ込む現象があり、順調に頭数管理ができるか懸念がある。時間はかかると思うが、全国的な問題として議論すべきである。

（委員）

- ・里山の農地被害について工夫しながら管理していかなければならない中、イノシシ・シカの記載が現行どおりで見直されていないことが気になる。被害も増えており、重要性は高い。
- ・最近では、人を恐れないクマも出現していると聞く。クマの専門機関等を活用する視点があってもよい。

（課長）

- ・イノシシ・シカについては、農作物被害の観点だけではなく、広い視点で計画へ記載できないか農林水産部と相談し、検討していきたい。
- ・クマについては、ゾーニング管理の考え方に基づき対策を進めているが、人慣れするなどクマの生態に関する学術機関の知見も活用しながら対策を考えてまいりた

い。

(委員)

- ・有害捕獲許可の手続は、地域の人にとって敷居が高いのではないか。
- ・ナラ枯れによりミズナラが枯れていたり、クマが好むヤマブドウが植林に変わっていたり、山中にクマの食物がない状態が問題である。クマの生息地を確保する観点から、クマの食物となるクマの樹木の植樹に補助金を出すなど大型動物の生息管理の強化が必要だ。

(委員)

- ・相手が動物だと簡単にいかない。人の動物に対する意識や産業の支援など様々な価値観が錯綜する。国に指針を示してもらいたいところだが、岡山県として行う最低限の共通方針を総合的に整備し、自然環境行政の立場から言えることを基本計画に盛り込むべきだ。
- ・自然保護は個体数管理だ。昔とは感覚も自然環境も社会構造も変わっており、思い切ったことを書くべきだ。

(課長)

- ・人と野生生物の関係については、時代によって変化していくものだと思う。ベストとなるバランスを見極め、環境行政を担う県として何ができるか考えてまいりたい。

(委員)

- ・子どもたちに、野生生物の保護は、人の手で管理することであるとの意識を持ってもらえるよう教育することも必要である。

(委員)

- ・未定着の外来種の早期発見・駆除については記載されているが、チュウゴクオオサンショウウオやソウシチョウなどの定着済みの外来種の対応についても考えてもらいたい。

(委員)

- ・ノラネコなど身近な動物について、これ以上繁殖しないよう、管理に向けた支援を行うことが必要である。

(課長)

- ・定着済みの外来生物については、コストの問題もあり、どこまで現実的に駆除できるのか検討する必要がある。
- ・ノラネコ等の管理については、素案にあるとおり終生飼養の働きかけ等を進めていくことにしている。

(委員)

- ・ノラネコも外来生物も、飼えないからといって自然に放してしまうことが根本の問題である。県だけではなく、広域的な対応が必要である。

(委員)

- ・国においても、ペットのメダカに着目し、販売者から購入者へ終生飼養のお願いをしてもらうよう啓発しているところである。学校教育も含めて、子どもたちへの普及啓発が重要である。

(委員)

- ・自然公園内での採集制限植物の記載がなくなっているが、なぜか。
- ・希少種の保護の観点からではなく、一般的な山野草等についても採集を控えるよう計画に記載してはどうか。

(課長)

- ・現状、指定を必要とする種が見当たらないため、記載を落としたものである。保護が必要な種については、種の保存法や県条例で保護対象としており、自然公園内の採取制限だけを取り上げる必要が薄いと考えたものである。
- ・一般的な山野草等の採取に関する記載については今後検討したい。

(委員)

- ・自然公園について、保護よりも利用促進にシフトしたように見えるのはいかがか。
- ・有機農業の促進について、表現が簡略化されており、取組が後退したように感じる。

(課長)

- ・自然公園の記載については、今後検討したい。
- ・有機農業の促進については、農林水産部で策定している計画の内容とも整合を図りながら、表現について検討してまいりたい。